

経済指標ウォッチャー

米小売売上高 過去最高を記録

経済活動の正常化が進めば、消費活動はさらに活発化する見込み

小売売上高とは？

百貨店やスーパーなどの小売・サービス業の月間売上高について、サンプル調査をベースにした景気関連の経済指標（耐久財と非耐久財に大別）。消費者が商品購入にどれだけお金を使ったかが分かる。個人消費はGDP（国内総生産）の中でも大きな割合を占めることが多いため、個人消費のトレンドや景気の良し悪しを判断するためにも重要視される。

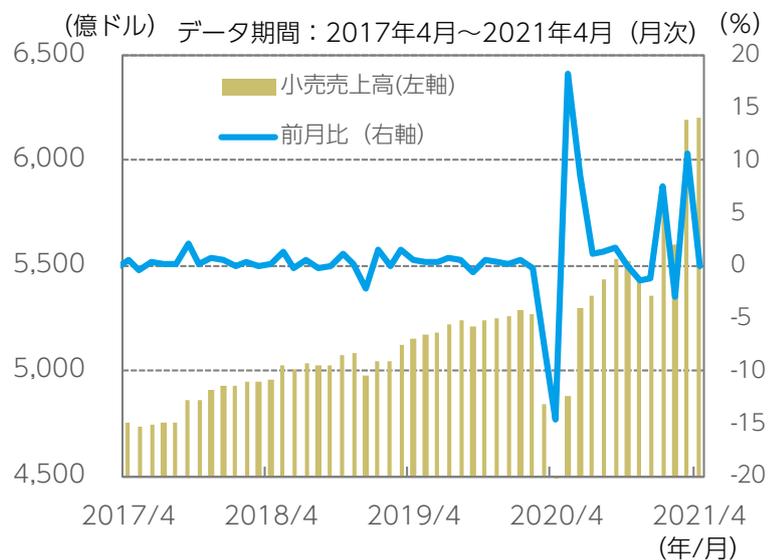
市場予想を下回るも過去最高を記録

米商務省が14日発表した4月の全米の小売売上高（季節調整済み）は6,199億ドル（約68兆円）で前月比変わらずとなり（図表1）、市場予想（同1.0%増）を下回りました。比較的価格変動の大きい自動車・ガソリン・建設資材・食品サービスを除くコア小売売上高は同1.5%減と足踏み状態となっています。コア小売売上高は足踏みする結果となったものの、3月の数字が速報値の前月比9.7%増から同10.7%増に上方修正されました。さらに、6,199億ドルという数字は過去最高だった3月の6,198億ドルをわずかに上回り、過去最高を更新していることから小売売上高の改善基調は継続しているものと思われま。

旅行等への需要が消費を押し上げる可能性も

小売売上高が過去最高水準となっている背景には追加経済対策で個人に最高2,000ドルもの現金が給付されたことが大きく影響しているものと考えられます。最高2,000ドルの現金給付の一部は貯蓄に回ったとみられており、足元の貯蓄率（可処分所得に占める貯蓄額の割合）は27.6%と過去と比較して高い水準にあります（図表2）。ワクチンの接種普及等により経済活動の正常化が進めば、高水準にある貯蓄を取り崩して消費行動を活発化させる消費者は多いとみられます。特に、移動制限等によりこれまで抑制されてきた旅行などへの需要が一気に湧き出し、消費を大きく押し上げる可能性があると考えられ、今後も小売売上高は堅調に推移するものと思われま。

図表1：小売売上高の推移



図表2：貯蓄率の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>